

部課名		経済観光部産業政策課											
課の使命		○町田商工会議所や町田新産業創造センター等の産業振興関係機関と連携し、事業者の創業期、拡大型、承継期などの様々なステージに応じた支援を行うことで、市内産業の活性化を図ります。 ○市内経済の中心である中心市街地において、都市再生推進法人をはじめ、中心市街地で活動する団体、企業と協力して一層の賑わいを創出します。 ○経済観光部内の連絡調整並びに部内の事務事業の執行計画の調整及び進行管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定					中間確認			年度末確認					
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	産業振興計画 の推進	・「チャレンジするならTOKYOの町田から！」を合言葉に、「町田市産業振興計画19-28」に掲げる58の施策のうち、2025年度の評価が目標値に達していない事業について、事業者が必要としている情報の分析を行います。その分析結果をもとに、支援団体が行う事業との連携や事業者との交流の場等を活用し、チャレンジをする事業者に必要な情報が届くよう、発信に取り組みます。 ・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金拡充を受け、町田商工会議所とともに、物価高騰の影響を受ける市内中小企業者等の負担を軽減するため、光熱水費等の20%相当額の給付を行います。	①目標未達成の項目のうち、成果が向上した指標の割合 ②給付金交付事業所数 ③情報発信数	①2割以上 ②7,400事業者 ③前年度比110%								
2	全庁で 取り組む 重点事業 プラン ／	「シティプロモーション」/ 中心市街地 活性化の推進	・「市内外から選ばれ続けるまち」を実現するために、まちなかのステークホルダーと夢まち会議※1等で議論を行い、連携して中心市街地における賑わいづくりに取り組みます。 ・イベント主催者や町田まちづくり公社、観光コンベンション協会等と連携し、はっとまちだデジタルサイネージ等で、中心市街地で開催される商店街等のイベント情報の発信に取り組みます。 ※1:町田商工会議所町田中央支部や町田市中央地区商業振興対策協議会の役員、株式会社町田まちづくり公社、市の4者で中心市街地に関する情報及び懸案事項を共有し、今後のまちづくりの方向性を議論する場	①中心市街地を訪れる頻度(市民意識調査) ②中心市街地歩行者通行量※2 ③シバヒロ来場者数	①55.2% ②302,000人/1日 ③21万人								
3	事務 事業 見直し	事業者の事業 継続に係る支 援の推進	・物価高騰や人口減少等の影響を受ける事業者が事業を継続するために必要な資金調達や人材確保に向け、検討を進めます。 ・金融機関等との協議を進め、市制度融資の利率やメニュー等の見直しに取り組むとともに、融資や創業プロジェクトに係るDX化の効果検証を行います。 ・関係機関等と連携し、就職面接会や労働関連セミナー等を実施することに加え、都補助金を活用した人材定着につながるワークショップ等を実施します。	①市制度融資の見直し ②就職面接会・セミナー等参加者数	①見直し完了 ②700人								
4	人材 育成	「チームワーク 志向」	町田市を含む全国の自治体業務における失敗事例を通じてその背景や解決策を課内で共有します。個人の行動が組織に与える影響を再認識することで、職員のソリューション力及びレジリエンス力向上を図ります。	共有回数	6回								

部課名		経済観光部観光まちづくり課											
課の使命		市民にとっては地域に愛着を感じ住み続けたいとなるような、来訪者にとっては何度も訪れたいとなるようなまちを実現するため、観光まちづくりを推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン 直し	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	町田薬師池公園四季彩の杜の各施設が連携して、季節に応じたイベントを実施します。	イベント参加者の満足度	80%								
2	重点 事業 プラン	多様なターゲット層に向けた観光プロモーションの実施	Jリーグサポーターをはじめとする多様なターゲット層に向け、町田市の魅力を伝えるようなプロモーションを展開します。	PRブースやWEB・SNSなどでの観光プロモーション回数	3回								
3	重点 事業 プラン	デジタルイベントの実施	アニメ等の映像作品のコンテンツとデジタル技術を活用した新たなイベントを企画・運営することで、20～30代の若者にも市ならではの魅力を伝えます。	イベント参加者の満足度	80%								
4	個別 計画	観光まちづくり基本方針後期取組項目の検討	近年の観光動向や社会環境の変化に対応した事業を推進するため、次期「町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト」を策定します。	リーディングプロジェクトの策定	完了								
5	人材 育成	「チャレンジ志向」	・最新技術や先進手法等についての研修や他自治体の先進的な事業についての視察等に参加することにより、観光まちづくり業務の知識向上を図ります。	研修・視察等回数	9回								
6	全庁で 取り組む 施策	「シティプロモーション」	・町田市の観光の魅力を広く周知するために、効果的な情報発信の充実に取り組みます。	報道関係者からの取材の回数	5回								

部課名		経済観光部農業振興課											
課の使命		○『市民と農をつなぐ』魅力ある町田の農業』を実現するため、市内産農産物の生産量・消費量の増加を図ります。 ○「住む人も 訪れる人も 居心地のよい まちだの里山」を実現するため、多様な主体との連携・協働により里山環境を活用し、町田ならではの「新しい里山づくり」を推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	町田産農産物の消費拡大	①町田産農産物「まち☆ベジ」をより多くの市民に購入してもらうために、イベントや広報媒体などの様々な手法でPRを行います。 ②子育て世帯に向けた市内産農産物の拠点販売について、注文・決済方法、配送拠点等の事業詳細を決定します。	①PRイベント実施地区数 ② 試験実施	①4地区 ②完了								
2	重点 事業 プラン	山林の再生と活用に向けた多様な主体との協働体制の構築	①「小山田エリアにおける里山環境再生・活用拠点施設」の整備・運営に向け、地域住民や教育機関等と一緒に里山活用に関する実証実験イベントを検討・実施し、地域住民と事業者との協働モデルを構築します。 ②学校法人玉川学園との事業連携協定に基づき、持続可能な里山資源活用の可能性について共同調査・研究を行います。	①協働モデルの構築 ②共同調査・研究の実施	①構築完了 ②結果公表								
3	全庁で 取り 組む 施策	「子どもにやさしいまちの実現」	イベント等を子ども達の活躍の場とし、子ども達が発案するプログラムを実施します。	子ども達が発案するプログラム等の実施回数	4回								
4	人材 育成	「チームワーク志向」	市役所まち☆ベジ市・日曜朝市・米づくり農業体験・子ども関連イベント4つの事業について業務研修を実施することで、組織内のチームワーク力と職員の技術・知識の向上を図ります。	1人当たりの現場研修参加回数	2回/1人								
5	事務 事業 見直し	その他の集約化・効率化(市有財産の活用手法の検討)	①里山環境活用保全事業用地のうち、十分に活用が図られていない山林等について、企業や団体が里山の再生・活用の取り組みに参画しやすいよう、事業用地の地形、植生、周辺環境などの調査を行います調査2年目の2026年度は調査対象の31.9haのうちおよそ1/4にあたる7.6ha)。 ②2025年度調査した7.6haの活用プランを作成します。	①十分に活用が図られていない山林の現況調査実施面積 ②活用プランの作成	①7.6ha ②作成完了								